

身延線 39 ウォークに参加して

渡井 哲

ビジターとして富士宮歩こう会に参加するのは今回で二度目になります。最初は、友人高橋君の声掛けがきっかけでした。彼はいつも、気を使ってくれるんです。本当に有難いことです。

12月9日はとても寒い一日でした。甲斐岩間～身延駅までおよそ20Kmの行程でした。それでも仲間と話しながらの歩きはとても楽しいものでした。でも、チョット疲れもありました。正直な話！

又、参加する機会があればと思っています。それから引率の皆さんお疲れ様でした。



身延線 39 ウォークとマメ

O・H

第4ステージから身延線を使うウォークになると、ゴール駅の出発時間に間に合わせる必要がある。今回は「十島駅」16時19分がそれだ。歩きの遅い私は荷物を軽くするか、履物を山靴から別の靴にしなければならない。考えた結果、踝(くるぶし)の出る浅いシューズを選んだ。家の周りを歩く時に履いている靴で、14～5kmは歩いているから大丈夫だと思った。調子よく歩いて井出駅を過ぎ、富士川の堤防を歩いている時右の足裏に違和感があった。この時には未だマメが出来ているとは考えもしなかった。トンネルを過ぎ、発電所の先で十島の集落に入ったとき、足を踏み出す度に痛みがする。列の最後尾なのでこれ以上遅れる訳にもいかず無理をして歩いた。

駅に着いて靴を脱ぐと見事に大きなマメが、しかも血の混じったマメができていた。足を軽くする事ばかり考えていた私は、ザックの重さを考えていなかった。時間内に到着したから良かったものの、もっと前だったらどうなっただろうかと思った。履物は、慣れたものであっても条件が変わるといつものようにはいかないものだと反省させられた。次には、履き慣れた軽い山靴にしようと思った。これも39ウォークの苦い思い出になるだろう。

身延線サンキューウォーク

身延駅～十島駅

佐野 和彦

車窓より右に左に寒の富士
寒晴や奥の院見ゆ身延山
市川家住宅見だし冬珊瑚
枯野道無口となりて歩みけり
悴^{かじか}みて駅舎でくるや昼の食
トンネルに響かす寒の登山杖
冬これや無人駅舎の其のままに

私の人生行脚 北海道一周踏破 その8

近藤 勝巳

7月28日、5時発、9時に目梨白小近くで自転車の金沢千夏ちゃん3年生と大森康平君2年生から話しかけられ、目梨白小学校に案内された。生徒8名、教職員6名の小さな学校で、突然の珍客に校長先生は興味津々で私の話に耳を傾けてくれ、飲食の接待もあり1時間も長居してしまった。あと3年で定年だが退職したらこんな旅をしたいと言っていた。

神威岬をバイパスする北オホーツクトンネルから先は10数キロ一直線で雲一つない青空と海だけだ。13時、ウソタンナイ砂金採掘公園あたりから風力発電が林立。14時45分、11年前に泊めてもらった豊島さんの出迎えで浜頓別の自宅へ到着。夕食前に浜頓温泉で汗を流しクッチャロ湖散策。夕食には毛ガニ、ホタテを始めいっぱいのご馳走をいただき、宗谷新聞の取材も受けた。31.5Kmでのんびり歩いた。

7月29日、6時発、豊島さんの奥さんに見送られ朝もやの中出発。クッチャロ橋まで豊島さんが同行してくれた。9時半、浅茅野の牧草地では大型草刈機とダンプカーが並走し、見事な連携プレーで牧草が積み込まれていた。浜猿払を過ぎ24km地点、防雪シエルター出口で前から来た車が止まり、昨日お世話になった目梨白小の加藤校長先生に声援をいただいた。14時20分、今度は後ろから来た車の中年女性からドリンク2本の差し入れがあった。11年前寝袋で泊まった「道の駅猿払」の無料ログハウスが無くなっていたのは残念だった。16時、31km歩き浜鬼志別の「さるふつまリン」旅館泊まり。夕食付5,200円、シンギスカン、ホタテ刺身、カレイ煮付け、とん汁、煮物など料理がよかった。

7月30日、5時発、気温16℃湿っぽい海風だ。知来別の浜通りには11年前には見られなかったモダンなホタテ御殿が建ち並んでいた。8時、海岸からアップダウンのある山道を2時間ほど歩き、再び海岸線へ出たが熊笹と海以外なにも無い道だ。歩きながらおにぎり2個で腹ごしらえ。11時25分、日本最北端の大岬小学校があり間もなく最北端の宗谷郵便局で5万円キャッシング。28km歩き、12時ジャスト宗谷岬に到着した。朝から曇り空だったが、日本最北端の地のモニュメントの前で記念写真を撮る時には晴れていた。30日間で1142.6km歩いた。11年前に出逢った稚内の木田さんに、今回も最北端のラーメン店間宮堂でホタテラーメンをご馳走になり、彼女の車で稚内の天然温泉「港の湯」へ送ってもらった。夜は木田さんと友達の齊藤さんと居酒屋で三度目の再会と完踏祝いをしてもらい有難いことでした。 完



2月事務所の休業日

3日(日) 6日(水) 13日(水) 17日(日)
20日(水) 27日(水)

◇いつでもお気軽にお立ち寄りください◇